

健児の歌

作詞作曲 堀内敬三

黎明の雲を破り
さしいずる日のごと
明けし生氣充てり
我等六中健児
いざ燃えよ朝日のごと
母校の光世にあらわせ
興国の鐘は響けり
興国の旗あがれり

湧き出ずる若き力
揺るがぬ意志もて
奮闘と努力やまず
我等六中健児
いざ進め撓まず往け
校旗を四方に輝かせよ
興国の鐘は響けり
興国の旗あがれり

佐藤喜一先生「お別れの会」

平成 29 年 2 月 25 日(土)

於：クルーズクルーズ新宿店



发起人	代表	橋本 健一 (19回)
吉村 悟 (7回)		龍岡 友子 (24回)
秋山 小南 (15回)		金杉 一朗 (26回)
田中 俊郎 (17回)		小野 瑞城 (34回)
宮崎 直道 (24回)		

佐藤喜一先生略歴・著書

東京都立新宿高等学校国語科元教諭 佐藤喜一先生は、平成 28 年 12 月 6 日ご逝去されました。満 86 歳でした。

先生は昭和 18 年、旧制府立六中に入学者、昭和 24 年に都立新制第六高校を卒業されました。その直後に、校名が都立新宿高校に改称され、朝陽同窓会の第 1 回生とされました。昭和 31 年、東京都立大学大学院修士課程を修了後、国語科教諭として都立富士高校、都立青山高校を経て、昭和 38 年母校 都立新宿高校に着任され、24 年間勤められた後、昭和 62 年、高校教員生活に終止符を打たれました。その後も、駿台予備校などの予備校講師として、多くの受験生の指導にあたりました。

同窓会活動としては、新宿高校着任前の昭和 34 年から 37 年まで副会長、新宿高校着任後は昭和 40 年から同窓会誌「朝陽」編集長を務められ、教員退職後は同窓会顧問として永く献身されました。同窓会が今日あるのは佐藤先生抜きに考えられない、まさに「同窓会の恩人」でした。

略歴

昭和 5 年 東京生まれ

昭和 13 年 豊島小学校入学（当時は「東京府豊島師範学校付属小学校」）、

昭和 18 年 豊島小学校卒業

昭和 18 年 東京府立第六中学校入学

昭和 20 年入学の合葉博治さんと「鉄道研究会」を立ち上げる

昭和 24 年 東京都立新制第六高等学校（現東京都立新宿高等学校）卒業（1 回生）

昭和 31 年 東京都立大学大学院修士課程修了（近代日本文学専攻）

昭和 31 年 東京都立富士高等学校国語科教諭

昭和 34 年 東京都立青山高等学校国語科教諭

昭和 38 年 東京都立新宿高等学校国語科教諭

担任期回 19 回、21 回、24 回、26 回、29 回、34 回

主たる部活顧問 硬式野球部

渾名 キイチ先生またはキーイチ、マシュマロ（富士高校時代も同様）

昭和 62 年東京都立新宿高等学校 退職

その後 駿台予備校など数校の予備校講師として受験指導をされる傍ら、鉄道エッセ

イストとして活躍 「交通新聞」他への寄稿、著書多数

鉄道友の会・日本ナショナルトラスト・世田谷文学館友の会会員

朝陽同窓会関係

昭和 34 年～昭和 37 年 副会長

昭和 40 年～平成 8 年 同窓会誌「朝陽」編集長（16 号～45 号）

平成 16 年～平成 24 年 顧問

著書

<鉄道エッセイ>

『汽笛のけむり 今いずこ』（新潮社 1999） 一第 25 回交通図書賞受賞一

『されど汽笛よ高らかに―文人たちの汽車旅―』（成山堂書店 2002）

『鉄道の文学紀行―茂吉の夜汽車、中也の停車場―』（中公新書 2006）

<学習参考書>

『傾向と対策 小論文』（旺文社 1985～1994）

『小論文標準ノート』（桐原書店 1998）

『基礎からジャンプアップノート漢字書き取り・読み方ドリル』（旺文社 2009）

<私家本>

『木々の翠を見やりつつ』（1991）

『たまゆらの旅路』（2008）

『幾山河こえさり来つれど』（2013）

『のちのおもひに』（2015）

「お別れの会」

式次第

1. 献花
 2. 開会の辞 橋本 健一（19 回）
 3. 同窓会長弔辞 田中 俊郎（17 回）
 4. 1 回生弔辞 直井 正（1 回）
 5. 旧職員弔辞 志村 芳昭（旧教職員）
 6. 献杯 秋山 小南（15 回）
 7. 懇談と献花
 8. 19 回生弔辞 大石 和夫（19 回）
 9. 22 回生弔辞 塩崎 恭久（22 回）
 10. 24 回生弔辞 向原 真一（24 回）
龍岡 友子（24 回）
 11. 26 回生弔辞 金杉 一郎（26 回）
 12. 佐藤喜一先生の思い出 小宮進（旧教職員）
 13. ゴンドラの唄・健児の歌斉唱
 14. 奥様とお嬢様のご挨拶
 15. 閉会の辞 吉村 悟（7 回生）
- 司会：西出 紀久(15 回)

佐藤先生ご墓地

八王子市宮 南多磨都市霊園 6 区画 49 号

住所：八王子市南大沢 3-1999-2 電話：042-676-1981

交通機関：京王線相模原線 南大沢駅 タクシー1,000 円程度（バスは一日 4 本）